

編集委員会

五十音順

編集顧問

伊藤 利之
上井 敏雄
大橋 正洋
木村 彰男
千野 直義
永田 富章

編集委員

近藤 克則
佐伯 寛文
高岡 尚司
橋本 圭子
藤谷 順香

編集同人

安保 雅博
藤徳 哲夫
猪飼 一憲
生駒 純夫
石合 剛伸
井上 夫二
江口 藤義
江原 弘
海老原 覚
大川 弥生
太田 喜久夫
岡田 康友
影近 謙治
菊地 尚久

木村 伸也
栗山 明彦
小池 純子
上月 博成
小林 成一
藤林 栄一
浦井 子
村田 志
村田 恵
下村 章
先崎 茂
園田 博
立石 子
陳島 明
寺島 彰

寺山 久美子
富田 正俊
中川 春基
中村 隆一
中村 立雄
二木 信
野島 康
芳賀 司
羽田 卓
田山 研
山須賀 二
花原 三
半田 彦
福田 登
藤井 克徳

藤古 郁人
本哲 三
前伸 郎
前野 豊
正門 久
水落 也
宮間 澄
村井 一郎
八上 郎
藤後 一
後藤 猛

編集後記

大流行中のインフルエンザ。確か、子供のころは「流感」（「流行性感冒」の略）と呼んでいたなと思って調べてみたところ、幕末に「インフルエンザ」という言葉は日本に持ち込まれ、「流行性感冒」と訳されたとありました。

岡本綺堂「綺堂むかし語り」の「思ひ出草」の中に「お染風」という項目があります。明治23～24年にかけてインフルエンザが大流行し、それを人々は「お染風」と呼んだそうです。なぜなら江戸時代に流行したよく似た風邪の名前が「お染」だったから。浄瑠璃、歌舞伎に出てくる「お染・久松」の「お染」が由来で、その心は「お染が久松に惚れたように、すぐ感染する」からじゃないかと推測しています。で、お染が憑りつくのは久松ということで、「久松留守」という札を玄関や軒下に貼って風邪除けとしたらしいです。洒落てますね。

さて、今年のインフルエンザは流行の時期が例年よりも遅いようで、まだまだ警戒が必要なようです。というわけで、わが家もお札でも貼っておくかと思ったところでふと気づきました。「お染風」じゃなくて「インフルエンザ」除けだから、日本語じゃ通じない？「Hisamatsu is away」？……違うか。（川）

総合リハビリテーション（第44巻 第3号）

発行 株式会社 医学書院

2016年3月10日発行（毎月1回10日発行）

代表者 金原 優

定価：本体2,300円＋税

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5704

（担当：川上・佐井・前野・山崎）

販売部直通 (03) 3817-5659

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 東京 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株)：電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (株)医薬広告社：電話 (03) 3814-1971

2016年 年間購読料（送料弊社負担・本体価格）、冊子版25,200円、冊子＋電子版/個人28,200円、冊子＋電子版/共有31,980円、電子版/個人25,200円、電子版/共有28,980円、冊子版/学生割引20,160円、冊子＋電子版/学生割引23,160円、電子版/学生割引20,160円

E-mail: sogoriha@igaku-shoin.co.jp

Web http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/sogoriha/

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2016, Printed in Japan.
- ・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は(株)医学書院が保有します。
- ・ 本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ **JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

*「総合リハビリテーション」は株式会社医学書院の登録商標です。